

令和2年6月18日

産学連携学会正会員 各位

特定非営利活動法人 産学連携学会
会長 木村 雅和

令和2年6月定例総会決議のご通知

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。さて、本日開催の表記総会において、下記のとおり承認並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬具

記

決議事項

- 1号議案：2019年度事業報告
- 2号議案：2019年度決算報告
- 3号議案：令和2年度事業計画
- 4号議案：令和2年度事業予算計画
- 5号議案：令和2年度表彰者

上記の件は、原案どおり可決承認されました。

以上

特定非営利活動法人

産学連携学会・定期総会

令和2年6月総会資料

【と き】 令和2年6月18日（木）
12:00～12:30

【ところ】 オンライン会議

プロメテウスの火

人類は火とそして知恵を授かり、
しかし未来を知る能力を失った。
代わりに得たのは、希望であった。
今、私たちは破壊と創造の火を燃やす。

特定非営利活動法人 産学連携学会

2020

令和2年6月定期総会 議事資料

1. 日時：令和2年6月18日（木） 12:00～12:30
2. 場所：オンライン会議
3. 出席者数：正会員総数_____人のうち_____出席（うち表決委任者_____人）
（定款 第26条 総会は、正会員総数の3分の1以上の出席がなければ開会することはできない）
4. 議長及び議事録署名人（2名）選任：
（定款 第25条 総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する）
議 長 _____
議事録署名人 _____
議事録署名人 _____
5. 開会：議長開会宣言
6. 議事：
 - 1号議案：2019年度事業報告
 - 大会の開催：令和元年6月20日～21日の日程で第17回大会を奈良県文化会館において開催した（参加者数530名、発表件数174件）
 - 学会誌の発行：学会誌「産学連携学」第15巻第2号を令和元年8月21日に、第16巻第1号を令和2年1月31日に発行した
 - シンポジウムの開催：令和2年2月7日に「イノベーション・マネジメントシステム ～効率的なイノベーション創出を目指して～」をテーマに東京海洋大学 越中島キャンパス 越中島会館講堂（東京都江東区）を会場にシンポジウムを開催した（事前参加登録：251名）
 - 海外学会との交流：令和元年10月17日、18日に Dongseo Univ Centum Campus in Busan（釜山市）において、韓国の産学協力学会と第5回韓日ワークショップを協力開催した（日韓比較研究会、日本からの参加者：6名、日本からの発表者：6名）
 - ニュースレターの発行：今後のニュースレターの在り方について検討した
 - メールニュースの発行：第983号～第1041号発行（58回）のメールニュースを全会員に提供した
 - 各支部活動
 - ・北海道支部：北海道科学大学主催の「第6回北方地域社会フォーラム：宿泊の進化から考える「まちの当事者」は誰か？」の後援と開催協力（令和2年2月10日：札幌市）
 - ・東北・北関東支部：北海道支部、学金連携システム研究会、秋田大学の共催を得て、「東日本カンファレンス in 秋田 2019」を開催（令和元年9月17日～9月18日：秋田市）
 - ・関西・中四国支部：第11回研究・事例発表会を開催（令和元年12月5日～12月6日：広島市）
 - ・九州支部：「IoT、AI を活用した新ビジネスの創造～産学共同でのデジタル異業種連携戦略～」をテーマとした産学連携ネットワーク会議の企画と事業化マッチングのためのラウンドテーブルの視察を計画した（コロナウィルス対策のため延期）
 - 研究会活動
 - ・公開研究会：建築学会との連携の下、社会建設における異種異質連携の可能

性を探ることを目的に公開研究会「建築学分野での産学官連携の在り方と今後のシステム設計を考える」を開催（一般社団法人日本建築学会共催 令和元年11月7日：港区）

- ・ 学連携システム研究会：「東日本カンファレンス in 秋田 2019」と共同開催として、第20回研究会（東北・北関東支部、北海道支部、秋田大学との共催、令和元年9月17日：秋田市）の開催
- ・ オープンイノベーション研究会：オープンイノベーションの先行事例、支援システムの紹介等を進めるための議論を重ね、事業提案を行った
- ・ リサーチ・アドミニストレーション研究会：産学連携学会第17回大会オーガナイズドセッション（令和元年6月21日：奈良市）、および第11回研究会（令和2年2月7日：千代田区）の開催
- ・ 地域社会実装研究会：研究会の開催、第3回「大学を活用した中小企業のグローバル展開、事例発表」（令和元年12月21日：大阪市）、中小企業産学連携ニーズ発掘サロンの開催（令和元年7月6日：大阪市）
- ・ 行動経済学・社会システム研究会：産学連携学会第17回大会（奈良大会）での2件の発表、関西・中四国支部の第11回研究・事例発表会での1件の発表、また研究会の活動についての会合（令和元年5月10日：広島市、令和元年6月19日：奈良市）と地域実例調査（令和元年9月11日：徳島県神山町、令和元年9月17日：松江市）
- ・ 日韓比較研究会：第5回韓日ワークショップを開催（令和元年10月17日、18日：釜山市）、また学会誌（第16巻第1号 特集：研究会における学術的取組事例・成果）に研究会活動に関する記事を寄稿
- 各種イベントや展示会での出展
 - ・ 「アグリビジネス創出フェア2019」への出展（令和元年11月22日：江東区）
- 共催事業：公開研究会「建築学分野での産学官連携の在り方と今後のシステム設計を考える（一般社団法人日本建築学会主催、令和元年11月7日：港区）」の1件
- 後援事業：「アグリビジネス創出フェア2019（農林水産省主催、令和元年11月20日～22日：江東区）」、「第20回ビジネスフェア by Seibushinkin Bank（西武信用金庫主催、令和元年11月7日：文京区）」、「輸出管理 DAY FOR ACADEMIA 2020（輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会主催、令和2年3月6日：千代田区）」（延期）の3件
- 理事会開催：平成31年4月2日、令和元年6月19日、令和元年7月1日、令和元年10月29日、令和2年2月7日（全5回）

2号議案： 2019年度決算報告（別紙資料-1・2・3・4）

3号議案： 令和2年度事業計画

- 大会の開催 第18回大会を秋田市で開催（コロナウィルスの影響拡大に鑑み、6月18日～19日に予定した第18回大会を11月17日～18日に延期）
- 学会誌の発行 「産学連携学」を年2回発行する。
- 秋季シンポジウムの開催

- 韓国の産学協力学会との連携強化（コロナウィルスの影響に鑑み今年度はオンライン会議等による連携の強化）
- ニュースレター（年2回（1回目は9月を予定））、メールニュース（随時）の発行
- 各支部活動
 - ・北海道支部：支部総会の開催（令和2年7月予定）、地域経済分析システム（RESAS）活用セミナー開催（令和2年10月予定）、「東日本リエゾンカンファレンス」の開催（オンライン形式等の開催方法を検討）
 - ・東北・北関東支部：「東日本リエゾンカンファレンス」を北海道支部等と連携して開催（オンライン形式等の開催方法を検討、令和2冬頃予定）、「地域産学連携イベント」の開催（令和3年：群馬県内）
 - ・関西・中四国支部：令和3年2月頃に第12回研究・事例発表会を開催する予定（場所：未定）に加え、幹事会（令和2年10月、12月、令和3年2月予定）の開催を予定
 - ・九州支部：IoT、AIについて各地域での取組み事例に基づき理解を深め、ラウンドテーブルの手法を紹介する産学連携ネットワーク会議を開催
- 研究会活動
 - ・学連携システム研究会：令和2年度をもって発展的に活動終了
 - ・オープンイノベーション研究会：2回程度の開催
 - ・リサーチ・アドミニストレーション研究会：全国大会におけるオーガナイズドセッションの開催および研究会の開催予定
 - ・地域社会実装研究会：中小企業ニーズ発掘サロンの開催（令和2年6月16日：オンライン開催）および研究会の開催
 - ・日韓比較研究会：日韓比較研究の推進と大会、学会誌等での研究成果の発表
- 各種イベントや展示会での出展

4号議案： 令和2年度事業予算計画（別紙資料-5）

5号議案： 令和2年度表彰者（別紙資料-6）

7. 閉会：議長閉会宣言
議長解任

【令和元年度役員】（令和2年6月18日時点）

会 長：木村雅和（静岡大学）

副会長：飯田香緒里（東京医科歯科大学）、石塚悟史（高知大学）、

理 事：網屋毅之（大谷特許事務所）、伊藤慎一（秋田大学）、内島典子（北見工業大学）、内山大史（弘前大学）、江田英雄（光産業創成大学院大学）、緒方智成（熊本大学）、尾関雄治（東レ（株））、小野浩幸（山形大学）、川名優孝（東京海洋大学）、北村寿宏（島根大学）、木村尚仁（北海道科学大学）、菅万希子（帝塚山大学）、永富太一（香川大学）、馬場大輔（経済産業省）、林聖子（亜細亜大学）、廣田勝巳（科学技術振興機構）、松平竹央（知財経営研究社）、松本毅（（一社）Japan Innovation Network）、矢野卓真（名古屋工業大学）、山本一枝（（株）ウェザーコック）、李鎔璟（山口大学）

会長、副会長を加え 24 名

監事：川崎一正(新潟大学)、桑江良昇(北里大学)

理事 24 名

監事 2 名

事務局長：石塚悟史(高知大学)

2019年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 産学連携学会

科	目	金額	小計・合計
【A】	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金	3,401,788	
	貯蔵品	132,066	
	未収金	471,989	
	仮払金	500,000	
	流動資産合計・・・①		4,505,843
2	固定資産		
	(1)有形固定資産		
	(2)無形固定資産 商標権	95,340	
	(3)投資その他の資産 差入元入金	140,000	
	固定資産合計・・・②		235,340
【A】	資産合計 ①+②		4,741,183
【B-1】	負債の部		
1	流動負債		
	未払金	872,310	
	前受金	60,000	
	預り金	2,842	
	流動負債合計・・・③		935,152
2	固定負債		
	固定負債合計・・・④		
	負債合計 ③+④		
【B-2】	正味財産の部		
	前期繰越正味財産額	4,389,415	
	当期正味財産増減額	-583,384	
	正味財産合計		3,806,031
【B】	負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】		4,741,183